

## 2019年度 愛知学泉大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
	現代社会と社会教育 Contemporary Society&Social Education	竹井 沙織	専門	2	選択	1年 前期
<b>科目の概要</b>						
この授業では、現代社会と社会教育との関連について学んでいく。現代社会で何が起きているのか、様々な社会問題に対して社会教育は何ができるのかについて理解を深め、グループワークやディスカッションを通じて、「社会」と「教育」の関連について検討する。最終的には、「社会」と「教育」の関連について、自らの言葉で説明できることを目指し、プレゼンテーション及びレポート作成を課す。						
<b>学修内容</b>			<b>到達目標</b>			
① 現代社会の構造やその中で起きている様々な社会問題について理解を深める。			① 現代社会の構造やその中で起きている社会問題について説明できる。			
② 社会教育とは何か、主に社会教育の制度や歴史、実践領域から学ぶ。			② 社会教育の成立過程や特徴について説明できる。			
③ 「社会」と「教育」の関連について、他者との意見を交わしながら理解を深め、自らの考えを発表する。			③ 「社会」と「教育」の関連について自分なりにまとめ、発表することができる。			
<b>学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素</b>		<b>学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例</b>				
前に踏み出す力	主体性	疑問点について、自ら文献やインターネットを使って調べることができる。				
	働きかけ力					
	実行力	課題を期限までに進めることができる。				
考え抜く力	課題発見力	現代社会で何が起きているのか、身近な事例から考えることができる。				
	計画力	課題提出までの計画を立てることができる。				
	創造力	固定概念にとらわれることなく、物事を考えることができる。				
チームで働く力	発信力	聞き手(読み手)のことを考えて、わかりやすく発信することができる。				
	傾聴力	他の人の発言を注意深く聴き、発言の内容を正確に理解することができる。				
	柔軟性	自分と異なる意見や価値観を尊重し、柔軟に受け入れることができる。				
	状況把握力					
	規律性	他者への気遣いを忘れず、自分勝手な行動を慎むことができる。				
	ストレスコントロール力					
<b>テキスト及び参考文献</b>						
【教科書】特に指定はしないが、資料として適宜コピーを配付する。						
【参考文献】授業中に適宜指示する。						
<b>他科目との関連、資格との関連</b>						
社会教育計画、社会教育演習、社会教育課題研究、その他の社会教育主事資格関係の科目と関連している。						
<b>学修上の助言 2</b>			<b>受講生とのルール</b>			
授業中はノートをとり、講義内容を自分なりに整理する。各回の復習を行う。 疑問点について、あらかじめ自ら文献やインターネットを使って調べておき、質問ができるように準備しておく。			ディスカッションやグループワークを多く取り入れるので、他の人に対する思いやりや想像力をもって授業に参加すること。			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験		①	
		②	
		③	
		④	
		⑤	
小テスト		①	
		②	
		③	
		④	
		⑤	
レポート	50	①	授業内容を理解しているかどうか。 文章に論理的な一貫性があるかどうか。 成果発表を振り返った内容になっているかどうか。
		②	
		③	
		④	
		⑤	
成果発表 (口頭・実技)	35	①	授業内容を理解しているかどうか。 発表の仕方が工夫されているかどうか。 授業を踏まえ、自身のオリジナルな発表内容となっているかどうか。
		②	
		③	
		④	
		⑤	
作品		①	
		②	
		③	
		④	
		⑤	
社会人基礎力 (学修態度)	15	①	社会人基礎力の12の能力要素のうち、主に、主体性(自ら学ぶ)、実行力(課題に取り組む)、課題発見力(身の周りの課題を発見する)、創造力(新しい発想をする)、発信力(わかりやすく伝える)、傾聴力(他人の発言を注意深く聴き理解する)、規律性(他者を気遣い身勝手な行動を慎む)を評価基準とする。
		②	
		③	
		④	
		⑤	
その他		①	
		②	
		③	
		④	
		⑤	
総合評価 割合	100		

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)の基準
<p>(A) 授業内容を十分理解し、「社会」と「教育」の関連について自分なりの考えをまとめ、しっかり準備をした上で発表に臨み、その発表の反省点・改善等を踏まえたレポートを作成する。発表、レポートともに論理的な一貫性を持たせて構成されている。</p> <p>(S) Aに加え、「自分」と「社会」と「教育」の関係性について、実体験に基づき、自らの言葉で説明できる。</p>	<p>授業内容を理解し、「社会」と「教育」の関連について自分なりの考えをまとめ、事前に準備した上で発表に臨んでいる。発表の反省点を踏まえ、レポートが作成されている。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	オリエンテーション:授業の趣旨と流れについて説明する。	講義と質疑、グループワーク	授業の概要と進め方について理解している。	配布資料の復習	180	主体性 計画力 規律性
2週 /	現代社会の特徴と構造について学ぶ①	講義と質疑	現代社会の構造の基礎について理解している。	配布資料を見直し学んだことを自分なりにまとめる。	180	主体性 課題発見力 創造力
3週 /	現代社会の特徴と構造について学ぶ②:自分史を振り返りながら	講義と質疑	現代社会の構造と自分との関係について理解している。	配布資料を見直し学んだことを自分なりにまとめる。	180	主体性 課題発見力 創造力
4週 /	現代における社会問題①:貧困について学ぶ。	講義と質疑、グループワーク	貧困問題について理解している。	指定資料の予習・講義とグループワークを振り返りまとめる。	180	主体性 傾聴力 柔軟性
5週 /	現代における社会問題②:少子高齢化について学ぶ。	講義と質疑、グループワーク	少子高齢化問題について理解している。	指定資料の予習・講義とグループワークを振り返りまとめる。	180	主体性 傾聴力 柔軟性
6週 /	現代における社会問題③:グローバル化について学ぶ。	講義と質疑、グループワーク	グローバル化によって引き起こされる問題について理解している。	指定資料の予習・講義とグループワークを振り返りまとめる。	180	主体性 傾聴力 柔軟性
7週 /	現代における社会問題④:その他の様々な社会問題について学ぶ。	講義と質疑、グループワーク	現代社会において多様化する問題について理解している。	指定資料の予習・講義とグループワークを振り返りまとめる。	180	主体性 傾聴力 柔軟性
8週 /	社会教育の制度について学ぶ。	講義と質疑	社会教育の制度的位置づけについて理解している。	指定資料を事前に読み内容とまとめ、授業後まとめ直す。	180	主体性 課題発見力 実行力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性  
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	社会教育の歴史について学ぶ。	講義と質疑	社会教育の歴史的発展過程の概略を理解している。	指定資料を事前に読み内容とまとめ、授業後まとめ直す。	180	主体性 課題発見力 創造力
10週 /	社会教育実践①:地域における子どもや若者を対象とした実践について学ぶ。	講義と質疑	子どもや若者を対象とした社会教育実践の内容について理解している。	指定資料を事前に読み内容とまとめ、授業後まとめ直す。	180	主体性 課題発見力 創造力
11週 /	プレ报告会:最終プレゼンテーションに向けたプレ報告会を実施し、意見交換を行う。	グループワーク、報告とディスカッション	発表の方向性が定まっている。	プレ報告会に向けた事前準備・ディスカッション内容を振り返りまとめる。	180	実行力 発信力 傾聴力
12週 /	社会教育実践②:地域における成人や高齢者を対象とした実践について学ぶ。	講義と質疑	成人や高齢者を対象とした社会教育実践について理解している。	指定資料を事前に読み内容とまとめ、授業後まとめ直す。	180	主体性 課題発見力 創造力
13週 /	社会教育実践③:NPO などの民間組織による社会教育実践について学ぶ。	講義と質疑	NPO の役割について理解している。	指定資料を事前に読み内容とまとめ、授業後まとめ直す。	180	主体性 課題発見力 創造力
14週 /	プレゼンテーション:課題について自分なりにまとめ発表する。	成果発表	自分なりに課題をまとめ、発表準備をしている。	発表に向けた事前準備・発表の振り返り	180	実行力 発信力 傾聴力
15週 /	授業と発表の振り返りを行い、学んだことを共有する(ワークショップ形式)。	ワークショップ及びディスカッション	ワークショップの際、自分の意見を述べる。	授業全体を事前に振り返り、授業後自分なりにまとめる。	180	発信力 傾聴力 柔軟性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性  
ストレスコントロール力